

企 業 局

令和 5 年(2023年) 1 1 月 2 4 日調製

# 定例会提出予定案件資料

	ページ
1 令和 5 (2023) 年度補正予算概要 -----	1 ～ 8
2 函館市電車乗車料金条例の一部を改正する条例の骨子 ---	9 ～ 10

# 1 令和5(2023)年度補正予算概要

## 【水道事業会計】

### (1) 補正事項

事 項		補 正 額	備 考
収 入	他 会 計 負 担 金	△ 1,092 <sup>千円</sup>	一般会計負担金（収益的収入）の減 △ 1,088千円 一般会計負担金（資本的収入）の減 △ 4千円
	計	△ 1,092	
支 出	給 与 費	△ 56,077	職員の変動およびその他の増減分 △ 56,077千円
	企 業 債 利 息	△ 9,438	企業債利息の減 △ 9,438千円
	消費税及び地方 消費税納付税額	34	消費税及び地方消費税納付税額の増 34千円
	計	△ 65,481	

### (2) 収益的収入及び支出 収 入

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
水道事業収益	4,881,267 <sup>千円</sup>	△ 1,088 <sup>千円</sup>	4,880,179 <sup>千円</sup>	
水道事業 営業収益	4,486,068	△ 1,088	4,484,980	一般会計負担金を補正

### 支 出

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
水道事業費用	4,744,221 <sup>千円</sup>	△ 61,197 <sup>千円</sup>	4,683,024 <sup>千円</sup>	
水道事業 営業費用	4,332,773	△ 51,854	4,280,919	給料，手当等，賞与引当金繰入額， 法定福利費，法定福利費引当金繰 入額および退職給付費を補正
温泉事業 営業費用	81,830	61	81,891	給料，手当等，法定福利費，法定 福利費引当金繰入額および退職給 付費を補正
営業外費用	286,625	△ 9,404	277,221	企業債利息および納付税額を補正

当年度純損益 45,970千円

(3) 資本的収入及び支出  
収 入

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
資 本 的 収 入	1,814,461 <sup>千円</sup>	△ 4 <sup>千円</sup>	1,814,457 <sup>千円</sup>	
他 会 計 負 担 金	69,286	△ 4	69,282	一般会計負担金を補正

支 出

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
資 本 的 支 出	3,470,327 <sup>千円</sup>	△ 4,284 <sup>千円</sup>	3,466,043 <sup>千円</sup>	
建 設 改 良 費	2,353,160	△ 4,284	2,348,876	水道事業建設改良費を補正

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,651,586千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額151,185千円、過年度分損益勘定留保資金816,507千円及び当年度分損益勘定留保資金683,894千円で補てんするものとする。

当年度財源過不足額 △ 12,079千円

累積財源過不足額 3,309,186千円

(4) 債務負担行為  
(追 加)

事 項	期 間	限 度 額
配 水 施 設 事 業 費	令和5年度から 令和6年度まで	182,700 <sup>千円</sup>

※工事の早期発注により、施工時期の平準化を図ることを目的とするもの。

(5) 債務負担行為の内訳

工 事 名	施 行 箇 所	管 径	延 長
松 川 1 号	松川町34～60	φ 100 <sup>mm</sup>	107 <sup>m</sup>
松 川 2 号	松川町33～37	φ 100	110
日 吉 4 丁 目 1 号	日吉町4丁目5番	φ 150	45
本 通 2 丁 目 1 号	本通2丁目21	φ 100	184
本 通 3 丁 目 1 号	本通3丁目13～15	φ 100	370
東 山 1 丁 目 1 号	東山1丁目20～24	φ 100	150
亀 田 港 1 号	亀田港町25～36	φ 200	250

## 令和5(2023)年度函館市水道事業会計予算(補正後)

## (1) 収益の収入及び支出

収 入		支 出		備 考
水道事業収益	千円 4,880,179	水道事業費用	千円 4,683,024	内部留保資金(減価償却費等)  1,442,352千円
水道事業収益	4,484,980	水道事業費用	4,280,919	
温泉事業収益	91,429	温泉事業費用	81,891	
売電事業収益	51,842	売電事業費用	34,236	
営業外収益	251,928	営業外費用	277,221	
		特別損失	757	
		予備費	8,000	
		差 引	197,155	

当年度純損益 45,970千円

## (2) 資本的収入及び支出

収 入		支 出		備 考
資本的収入	千円 1,814,457	資本的支出	千円 3,466,043	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 1,651,586千円は、 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 151,185千円 過年度分損益勘定留保資金 816,507千円 当年度分損益勘定留保資金 683,894千円 で補てんするものとする。
企業債 出資金	1,152,000 71,867	建設改良費 企業債償還金	2,348,876 1,117,167	
固定資産 売却代金	421			
国庫補助金	143,733			
他会計負担金	69,282			
工事補償金	377,154			
差 引	△1,651,586			

当年度財源過不足額 △ 12,079千円

累積財源過不足額 3,309,186千円

【公共下水道事業会計】

(1) 補正事項

事 項		補 正 額	備 考
収 入	他 会 計 負 担 金	15,204 <sup>千円</sup>	一般会計負担金（収益的收入）の増 15,274千円 一般会計負担金（資本的收入）の減 △ 70千円
	計	15,204	
支 出	給 与 費	△ 10,128	職員の変動およびその他の増減分 △ 10,128千円
	委 託 料	82,809	ポンプ場費の増 17,756千円 処理場費の増 65,053千円
	企 業 債 利 息	△ 1,905	企業債利息の減 △ 1,905千円
	消費税及び地方消費税納付税額	△ 6,235	消費税及び地方消費税納付税額の減 △ 6,235千円
	計	64,541	

(2) 収益的收入及び支出  
収 入

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
下水道事業収益	8,019,611 <sup>千円</sup>	15,274 <sup>千円</sup>	8,034,885 <sup>千円</sup>	
営 業 収 益	5,686,598	15,274	5,701,872	一般会計負担金を補正

支 出

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
下水道事業費用	6,861,897 <sup>千円</sup>	65,429 <sup>千円</sup>	6,927,326 <sup>千円</sup>	
営 業 費 用	6,244,473	73,569	6,318,042	給料，手当等，賞与引当金繰入額，法定福利費，法定福利費引当金繰入額，退職給付費および委託料を補正
営 業 外 費 用	609,423	△ 8,140	601,283	企業債利息および納付税額を補正

当年度純損益 996,468千円

(3) 資本的收入及び支出  
収 入

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
資 本 的 収 入	3,341,703 <sup>千円</sup>	△ 70 <sup>千円</sup>	3,341,633 <sup>千円</sup>	
他 会 計 負 担 金	997,357	△ 70	997,287	一般会計負担金を補正

支 出

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
資 本 的 支 出	千円 5,982,069	千円 △ 888	千円 5,981,181	
建 設 改 良 費	1,841,597	△ 888	1,840,709	管渠事業費，ポンプ場事業費および処理場事業費を補正

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額2,639,548千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額111,091千円，当年度分損益勘定留保資金1,399,476千円及び繰越利益剰余金処分額1,128,981千円で補てんするものとする。

当年度財源過不足額 △ 132,513千円

累積財源過不足額 2,013,315千円

(4) 債 務 負 担 行 為  
(追 加)

事 項	期 間	限 度 額
下 水 管 渠 事 業 費	令和5年度から 令和6年度まで	千円 90,000
南部下水終末処理場 およびポンプ場等包括的 維持管理業務委託料  〔南部下水終末処理場 大手ポンプ場 宇賀浦中継ポンプ場 住吉ポンプ場 湯川ポンプ場 志海苔ポンプ場 港ポンプ場 マンホール内ポンプ所〕	令和6年度から 令和9年度まで	331,236

※「下水管渠事業費」は工事の早期発注により，施工時期の平準化を図ることを目的とするもの。

(5) 債務負担行為の内訳（下水管渠事業費）

工 事 名	施 行 箇 所	管 径	延 長
金 堀 地 区	人見町10～13	mm φ 250	m 224
桔 梗 地 区	石川町226	φ 200	300

## 令和5(2023)年度函館市公共下水道事業会計予算(補正後)

## (1) 収益の収入及び支出

収 入		支 出		備 考
下水道事業収益	千円 8,034,885	下水道事業費用	千円 6,927,326	内部留保資金(減価償却費等) 1,399,476千円
営業収益	5,701,872	営業費用	6,318,042	
営業外収益	2,333,013	営業外費用	601,283	
		特別損失	1	
		予備費	8,000	
		差 引	1,107,559	

当年度純損益 996,468千円

## (2) 資本的収入及び支出

収 入		支 出		備 考
資本的収入	千円 3,341,633	資本的支出	千円 5,981,181	資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 2,639,548千円は、 当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 111,091千円 当年度分損益勘定留保資金 1,399,476千円 繰越利益剰余金処分額 1,128,981千円 で補てんするものとする。
企業債	2,090,300	建設改良費	1,840,709	
国庫補助金	230,400	企業債償還金	4,129,292	
受益者負担金	3,450	長期貸付金	11,180	
他会計負担金	997,287			
工事補償金	11,899			
長期貸付金返還金	8,297			
差 引	△2,639,548			

当年度財源過不足額 △ 132,513千円

累積財源過不足額 2,013,315千円

【交 通 事 業 会 計】

(1) 補 正 事 項

事 項		補 正 額	備 考
収 入	他 会 計 補 助 金	△ 503 <sup>千円</sup>	一般会計補助金（収益的収入）の減 △ 503千円
	消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 還 付 金	△ 36	消費税及び地方消費税還付金の減 △ 36千円
	計	△ 539	
支 出	給 与 費	△ 27,047	職員の変動およびその他の増減分 △ 27,047千円
	企 業 債 利 息	△ 343	企業債利息の減 △ 343千円
	計	△ 27,390	

(2) 収益的収入及び支出  
収 入

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
軌 道 事 業 収 益	1,345,294 <sup>千円</sup>	△ 539 <sup>千円</sup>	1,344,755 <sup>千円</sup>	
営 業 外 収 益	439,257	△ 539	438,718	一般会計補助金および消費税及び地方消費税還付金を補正

支 出

科 目	既 決 額	補 正 額	計	備 考
軌 道 事 業 費 用	1,571,593 <sup>千円</sup>	△ 27,390 <sup>千円</sup>	1,544,203 <sup>千円</sup>	
営 業 費 用	1,561,229	△ 27,047	1,534,182	給料，手当等，賞与引当金繰入額，法定福利費，法定福利費引当金繰入額および退職給付費を補正
営 業 外 費 用	6,364	△ 343	6,021	企業債利息を補正

当年度純損益 △ 248,001千円

(3) 資本的収入及び支出

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額182,731千円のうち95,650千円は，当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額48,553千円，過年度分損益勘定留保資金37,507千円及び当年度分損益勘定留保資金9,590千円で補てんするものとする。

当年度財源過不足額 △ 124,588千円

累積財源過不足額 △ 87,081千円



令和5(2023)年度函館市交通事業会計予算(補正後)

(1) 収益的收入及び支出

収 入		支 出		備 考
軌道事業収益	千円 1,344,755	軌道事業費用	千円 1,544,203	内部留保資金（減価償却費等） 257,591千円
営 業 収 益	906,037	営 業 費 用	1,534,182	
営 業 外 収 益	438,718	営 業 外 費 用	6,021	
		特 別 損 失	1,000	
		予 備 費	3,000	
差 引	△ 199,448			

当年度純損益 △ 248,001千円

(2) 資本的收入及び支出

収 入		支 出		備 考
資 本 的 収 入	千円 585,761	資 本 的 支 出	千円 768,492	資本的収入額が資本的支出額に 対し不足する額182,731千円の うち95,650千円は、 当年度分消費税及び地方消費税 資本的収支調整額 48,553千円 過年度分損益勘定留保資金 37,507千円 当年度分損益勘定留保資金 9,590千円 で補てんするものとする。
企 業 債	529,900	建 設 改 良 費	589,969	
国 庫 補 助 金	43,403	企 業 債 償 還 金	178,523	
他会計補助金	12,458			
差 引	△ 182,731			

当年度財源過不足額 △ 124,588千円

累積財源過不足額 △ 87,081千円

## 2 函館市電車乗車料金条例の一部を改正する条例の骨子

### (1) 改正理由

1 日乗車料金および2 日乗車料金を改定するため

### (2) 改定に係る経緯

1 日乗車料金および2 日乗車料金は、企業局および函館バス(株)の双方で、乗車料金、利用可能区間等を同一にし、市電および函館バスを相互に利用できる料金形態である。

このたびの1 日乗車料金および2 日乗車料金の改定は、函館バス(株)が令和5 年1 2 月1 日にバス乗車料金を値上げ改定することに伴い、これとの整合を図るため行おうとするものである。

### (3) 改定後の料金設定

種別	現行料金	改定後料金(案)
(市電・バス共通) 1 日乗車料金	大人 1,000 円 小児 500 円	大人 1,400 円 小児 700 円
(市電・バス共通) 2 日乗車料金	大人 1,700 円 小児 850 円	大人 2,400 円 小児 1,200 円

### (参考) 函館バス(株)の料金改定

種別	改定前料金	改定後料金
函館バス専用1 日 乗車料金	大人 800 円	大人 1,200 円
函館バス専用2 4 時間乗車料金	大人 1,400 円	大人 1,800 円

### (4) 施行期日(1 日乗車料金および2 日乗車料金の改定年月日)

令和6 年4 月1 日

## 函館市電車乗車料金条例 新旧対照表

現 行				改 正 案			
第 3 条 （略） 2 （略） 3 特別乗車料金は、別表に定める金額の範囲内で、管理者が別に定める。 4・5 （略）				第 3 条 （略） 2 （略） 3 （略）  4・5 （略）			
別表（第 3 条関係）				別表（第 3 条関係）			
種別		区分	金額	種別		区分	金額
普通定期乗車料金		（略）		普通定期乗車料金		（略）	
学生 等割 引定 期乗 車料 金	大人	（略）		学生 等割 引定 期乗 車料 金	大人	（略）	
	小児	（略）			小児	（略）	
1 日 乗車 料金	大人	乗車 1 日につき	<u>1,000円</u>	1 日 乗車 料金	大人	乗車 1 日につき	<u>1,400円</u>
	小児	乗車 1 日につき	<u>500円</u>		小児	乗車 1 日につき	<u>700円</u>
2 日 乗車 料金	大人	乗車連続 2 日につき	<u>1,700円</u>	2 日 乗車 料金	大人	乗車連続 2 日につき	<u>2,400円</u>
	小児	乗車連続 2 日につき	<u>850円</u>		小児	乗車連続 2 日につき	<u>1,200円</u>